

普通科

学力向上フロンティア校 「みらいハトライ! 福高スクラム」

学力向上フロンティア校に3年連続で指定
普通科の新しい取組に御注目ください!

『確かな学力』をつける取組を積極的に進めています!

～ 福高普通科 本年度1年間の取組の足跡 ～

中学3年生の皆さんは、現在、志望校合格に向けて受験勉強に忙しい毎日だと思います。そして、2年生の皆さんは、1年後の希望進路実現に向け、準備を始めようとしていることと思います。今後の1年間の中で、自分自身の将来をしっかりと見定め、現在の学力で志望校を決めるのではなく、目的や目標を持って、自分の学びたい内容、学びたい環境、やってみたい部活動等をじっくりと考え、自分自身が納得のできる志望校の決定ができるよう、情報発信を行い支援していきたいと考えています。

本校普通科では、京都府教育委員会から『学力向上フロンティア校』として3年連続で事業の指定を受け、生徒一人一人の学力向上に向けて様々な取組を展開しています。本年度取り組んできた内容についてその一部を御紹介します。

- ・みらいウィーク（「夢を持って生きることの意義」についての講演、着こなし講座など）
- ・職業・学部適性検査（自分の適性を客観的に見つめる。）
- ・学びの木（学習方法や学習内容に関するオリエンテーション）
- ・日々の演習（毎日、各教科から家庭学習課題が出されます。）
- ・小論文講演会と小論文模試（自己表現力や読解力を高めます。）
- ・みらい考（一人一人がテーマを決めて調査活動やレポート発表を行い、幅広い学力を育てます。）
- ・宿泊研修（大学・職場見学、卒業生との交流を通して知見を広げます。）
- ・福高作文（年間の様々な行事の中で、感想文やお礼文を書き、自己表現力を高めます。）
- ・新聞活用セミナー（天声人語の書き写し、朝日新聞社の方の講演などを通して、社会的背景を深く見抜く読解力や表現力を育てます。）
- ・インターンシッププログラム（福知山市内の様々な職場で見学や実習をさせていただきます。写真は福知山市民病院様）



京都大学にて卒業生（現役京大生）と交流
平成22年度 宿泊研修



みらいウィーク



日々の演習



小論文講演会

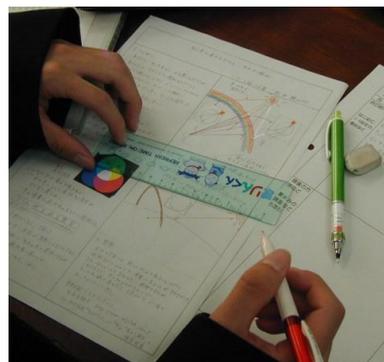


新聞活用セミナー



インターンシップ

特に本年度は、新しい取組として普通科の生徒を対象とした調査活動『みらい考』を始めました。120余りのテーマから生徒が調べたい内容について書籍やインターネットなどを活用して調査しました。また単に調べるだけではなく、夏休みには博物館へ出かけたり、アンケートや街頭調査を行ったり、実験を行ったりするなど独自の調査を行い、その結果や考察をレポートにまとめました。



グループ発表により互いに交流を深め、1月27日（木）には生徒同士の相互評価において特に優れていたと評価されたテーマ5本について発表を行いました。

発表者とテーマは以下のとおりです。

- ・ 上村祐美子（Ⅰ類） 福知山市立成和中学校出身
テーマ『戦国武将伝 関ヶ原での裏切り者!? 小早川秀秋』
- ・ 田中利栄子（Ⅰ類） シュティイェス・マタレ・ギムナジウム・メアブツシュ・ヨロッパ 学校在籍
テーマ『世界各地の神話に共通するものとは何か』



- ・ 衣川 真矢（Ⅱ類） 福知山市立夜久野中学校出身
テーマ『発酵の仕組み』
- ・ 白石 紗季（Ⅱ類） 福知山市立六人部中学校出身
テーマ『リハビリとは ～リハビリの種類と方法～』
- ・ 服部 舞子（Ⅱ類） 福知山市立成和中学校出身
テーマ『新撰組 ～鬼の副長 土方歳三～』

『みらい考』を終えての感想

吉良俊範（福知山市立六人部中学校出身）

他の人たちの発表を聴いていると、みんな思い思いのテーマに真剣に取り組んでいて、同じようなテーマでも人ごとに違った意見があってすごく面白かったです。みんな本当に聞く人に楽しんでもらいたいという気持ちで調べていたんだな、と伝わってくるそんな発表の数々でした。



阪根将太（福知山市立川口中学校出身）

一つのことについてとことん調べるという行為は、完成した時の感動が一際大きいということを改めて知った。今回は直接題材に関係のある場所に赴き、詳細を調べることができなくて、パソコンのみの調査になったが、自分の知らないことを発見していくことがとても楽しく達成感に満ちることを知った。

今後の目標のほんの一端ではあるが、確実に見つけられた気がする。